

AAINews

APPROPRIATE AGRICULTURE INTERNATIONAL CO., LTD

国際耕種株式会社

〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3 アーベイン平本 403

TEL/FAX: 042-725-6250 Email: aai@sk9.so-net.ne.jp

オマーン国ドファール州と現地カウンターパート

ドファールはオマーンの南部に位置し、イエメンと国境を接する州である。そもそも「ドファール」とは「オマーン」と同様昔から使われてきた呼び名で、文化的にも民族的にもマスカットを中心とする北部オマーンとは異なり、イエメンとの関係が色濃く残っている。1960年代にドファールの山岳民族が独立運動を行い、現政権に武装闘争を行ったこともある。現在では現カブース国王の手厚い経済的配慮もあり、オマーンの旗のもとで政府に対する批判も表だっては聞かれない。また、治安も非常に安定している。



NARS正門と作業風景

このドファール州はその地形から、農業や漁業を中心産業とするサララ周辺部の「海岸部」、その北側に位置し、標高 1,000 m 程度の山々や高原からなる牛、やぎなどの牧畜の盛んな山岳部「ジャバル」、さらにジャバルの北に広がるらくだの遊牧が行われてきた「ネジド」に大きく分けられる。海岸部やジャバルは7月から9月のインド洋からの南西モンスーン風の影響により霧雨が降り、アラビア半島では珍しく緑に覆われる。一方、ネジドは山を越えたモンスーン風のフェーン現象により連日45度を越える乾燥した猛暑となる。

ドファールの乾燥地であるネジドに設立されたNARS (Nejd Agricultural Research Station、サララ北約 170km) では若い農業技術者が将来のオマーン農業を担うべく「ICAプロジェクトのカウンターパートとして活躍している。カウンターパートは10名全員がドファール州の出身者。ドファールの中でもサララ、ジャバル、ネジドの各地域出身者で構成され、年齢的には大学もしくは高校を卒業して1~3年で、20から25歳と非常に若い。所長はサララの有力グループであるシャンファリ家の出身で25歳ではあるが、管理能力の優れた人である。逆に言えばオマーンではそれだけ若い人材が不足しているとも言えるのではなかろうか。

現在、カウンターパートはドファールでの乾燥地農業開発のため、土壌改良を目的とした牧草栽培、土壌調査、それに付随する各種分析作業を行っている。将来の乾燥地開発のための若き人材として10年後、20年後の彼らの活躍がオマーンの農業を左右するようになるのであろう。(オマーンにて・財津)

サララ出身 (所長、バーダル)

ジャバル (バキート)

ネジド (モレムド、サーレム)